

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 保育内容 (表現)	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)		授業担当者	当該科目に関する実務経験
			溝口 敏美	
			風間 章子	
			廣野 仁美	
			柳田 真理子	保育士
授業の回数 12 回	時間数 (単位数) 24 時間 (2 単位)	幼稚園教諭専攻科 前期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい及び、概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児は日常生活や遊びの中で、イメージを自由に膨らませながら豊かな表現を見せてくれる。保育者には、そのような乳幼児一人ひとりのあるがままの姿を捉え、意志のある「表」と無意識の内的変化である「現」をそれぞれ大切に受け止めるための理解力を身につけることが必要である。 講義と演習を通して、乳幼児における表現の意味を理解し、表現の萌芽に気づき、その表現に対し適切に対応できる応答力を養う。 保育内容「表現」のねらいと内容について理解すること・発達段階による「表現」の違いを理解すること・保育者が自己発見、自己認識を経て保育者自身が豊かな表現者になるよう自己表現力を高めること・乳幼児の「表現」を支える保育者の役割を理解すること・乳幼児の「表現」を援助するための方法をみにつけることを目標とし、学びを深める。 				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育内容「表現」の歴史の変遷と保育の中で捉えられる「表現」の特殊性を理解する。「表現」を司る五感と保育との関わりについて理解する 領域「表現」のねらいと内容の意味を理解する一現在の幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における、領域「表現」における子どもの発達と表現の理解 表現する身体の獲得のため、バランスよい身体を育む、リズム活動などを考察する 表現する身体と音楽に合わせた活動・遊びについての実践—わらべ歌はじめ遊びと歌を一体化した動作で育つリズム感や集団で遊ぶ中で育つ人間関係や社会性を理解する。 子どもの歌の特徴と魅力を理解する。詩の世界に触れ、詩の言葉の特徴などを考察する。子どもの歌が小学校教育の音楽・国語につながる力を育むことを理解する。 季節に着目し、行事やそれに関わるあらゆること、動植物や自然、生命についての様々な変化や事象に理解を深める 造形に対する感性と表現について理解し、保育現場で子どもに豊かな経験を与えられるよう表現の可能性について実践を通して学ぶ。小学校教育の図画工作につながる力を育むことを理解する。 造形に対する感性と表現について、保育現場での指導方法を考察し、様々な素材での表現を知り、造形的思考力と表現力を育む指導を検討する。 音、音楽に対する感性と表現について理解する。子どもが豊かな音や音楽を経験するために、音による表現の可能性を試行する。小学校教育における音楽につながる育ちとなることを理解する 音、音楽に対する感性と表現について、保育現場での指導方法を考察する。保育現場での音の表現、音楽的表現を育む指導方法を考察する。 				

11. 子どもの豊かな感性と表現を育むために、どのような環境を整えるべきなのか、環境と表現の関わりについて理解する。時間、空間、人間関係、健康状態などの考慮も理解する。
12. 表現を育む保育者の役割と保育教材について考察する。楽しみながら表現技術を身につけるために必要な指導や具体的な指導方法と留意点を考察する。

[使用テキスト・参考文献]

- ・「新しい保育講座 保育内容「表現」」ミネルヴァ書房
- 《参考文献》
- ・「事例で学ぶ 保育内容 表現」萌文書林
- ・幼稚園教育要領（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省）
- ・保育所保育指針（平成 29 年 3 月告示 厚生労働省・日本保育協会）
- ・「ことばと表現力を育む児童文化」（萌文書林）

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。

- ・ 考查点 (75%)
- ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。
- ・ 平常点 (25%)
- ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。